

地域金融 にぎわい創出

ジーズドリーム開設

岐阜信金、旧支店跡地を活用

岐阜信用金庫（岐阜市）の旧若宮町支店跡地に3日オープンした地域のにぎわい交流拠点「G's Dream（ジーズ ドリーム）」が、公共スペースを備え、市民らが気軽に参加できるイベント開催などまちづくりを主眼に置く。今後は、コンサートなどの開催で中心市街地への集客が期待される。市中心部は、金融機関によるにぎわい拠点の整備が進んでおり、近隣の柳ヶ瀬商店街の関係者から活性化への期待の聲が上がる。

（玉田健太、松浦健司）

岐阜市中心部、銀行も支援拠点

「予想以上の人出。にぎわいを生み出せることが分かり、身の引き締まる思い。市民が興味を持てることをどんどん企画したい」。施設の担当者は今後の公共スペースの活用に意欲を語った。

施設内からは木の香りが漂う。オープニングイベントでは、一部吹き抜けの開放感あふれる空間で、バイオリニスト濱島秀行さんの

演奏や、バトンチーム「ハニーズ」の子どもたちによる演技が披露された。今後、コンサートでの活用やセミナーの開催を計画している。

施設は、従来の支店のような窓口を設けず、預金や融資など金融窓口業務は行わない。インターネットバンキングの普及などで通帳を使う機会が減り、若い世代を中心に「窓口離れ」が進む。「まずは施設の存在を知ってもらって、岐阜信用金庫が面白いことをやっているというイメージを広げたい」と好岡政宏理事長は狙いを語る。

県内の金融機関では、大垣共立銀行（大垣市）が柳ヶ瀬の再開発ビル「柳ヶ瀬グラッスル35」に、店舗「OKB岐阜中央プラザわくわくベースG」を開設。イベントなどで柳ヶ瀬のにぎわ

い創出に寄与している。十六銀行（岐阜市）を傘下に置く十六フィナンシャルグループ（FG）は市役所旧本庁舎跡地に地域住民らが利用できる空間を備えた新本部ビル「16FGオフィス&パーク」を建設中で、金融業務にとどまらず、地域のにぎわいづくりにつながる施設の整備を進めている。

昨年7月末の岐阜高島屋閉店で柳ヶ瀬の核店舗を失った商店街は、こつした金

融機関の動きを歓迎する。

岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会の水野琢朗理事長は「変化のタイミングを迎える柳ヶ瀬にとって、地域に根付いてやっていくという思いがありがたい」と語る。市商店街振興組合連合会の服部弘典理事長代理はジーズドリームについて「近隣の柳ヶ瀬、神田町の住民がうまく利用できれば」と期待を込める。

柴橋正直市長は、ジーズドリームが商店街と北側をつなぐ役割を期待し「一緒に（柳ヶ瀬活性化の）課題解決に向けて取り組める場所になってほしい」と話した。



オープニングセレモニーでバトンウィングを披露した子どもたち。会場には大勢の観客が集まった。3日午後1時6分、岐阜市神田町撮影・坂井明香



金融機関のにぎわい交流拠点